

(別添7)

事業所名 グループホームふく福

2 目標達成計画

作成日: 平成30年4月13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	13	H29年は、自治会や消防団の方の施設見学を行っていない。緊急時には、職員だけでなく地域の方にも協力していただき、速やかに避難誘導し安全を確保する。	日頃より地域の消防団や住民との交流を図り、緊急時や災害時の協力体制を築く。	年度初めに、自治会の消防団や民生委員、自治会の役員の方に施設見学をして頂き、施設の構造や利用者の様子を知ってもらう。	3ヶ月
2	1	施設の理念が2年間変わっていない。地域密着型サービスの意義を考え、施設のサービスの方向性を職員で共有するため、職員全員で現状に即した理念を作り上げる。	地域密着型サービスの意義をふまえ、職員全員で現状に即した施設の理念を作り上げる。施設のサービスの方向性を職員全員が共有し実践する。	職員研修において、地域密着型サービスの意義をふまえた理念を職員全員で作りに上げる。又、理念をふまえ毎日の業務を行うよう、朝礼の時に職員で復唱する。	3ヶ月
3	2	日常的に地域に出かけたり、自治会に加入し自治会の行事に参加し交流を図っている。地域の行事に参加するだけでなく、施設として地域貢献も行っていく。	地域住民との交流や地域貢献を積極的に行い、地域に開かれた施設を目指す。	施設での催しに、自治会や地域の方に声をかけ、参加してもらい交流を行う。又、介護に関する相談を受けたり、地域の行事に参加するだけでなく協力を行うなど地域貢献をする。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。